

区分・種別	重要文化財(石造美術)		
名称	ごりんとう 五輪塔 1基		
所在地	今治市野間		
所有者	野間部落	管理団体	今治市
指定年月日	昭和29年3月20日		
解説	<p>野間部落のほぼ中央にある五輪塔で、総高250cm、総形座を含めると260cmとなる花崗岩製である。</p> <p>地輪、水輪、火輪、風輪、空輪がよくまとまり、全体として均整がとれ、形式、技法とも鎌倉時代を代表する遺品といえよう。</p> <p>地輪側面の銘文は風化のため見えにくくなっているが、拓影によると次のようである。「志者為亡妻 紀氏女乃至 法界平等利益之故也 嘉暦元年^{かりやく}丙寅四月□□日 願主比丘□^春」(注 嘉暦元年は1326年)</p> <p>なお、平成元年度に、解体修理が行われた。その時発見された木製五輪塔は全国初のもので、人骨は25歳前後の女性と鑑定され、銘文中の紀氏の女と一致している。また木製五輪塔には水晶の舍利^{しゃり}と丸薬が奉納されていた。</p>		

